

(32) 魚病監視調査

調査方法

1. 調査期間

2009年4月～2010年3月

2. 調査項目

1) 魚病診断

育成魚等の異常が報告された場合、すみやかに魚病診断を行った。

2) 健康診断

種苗生産に用いる親ヨシエビについてPCR法によるPAV(WSS)ウイルス検査を行った。

調査結果

表1・2のとおり。

担当者

辻村浩隆

表1 魚病監視調査、魚病診断件数

魚種	病名	2009年						2010年						合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒラメ	滑走細菌症			1										1
	レンサ球菌症					1								1
	原因不明		1							1				2
オニオコゼ	繊毛虫症			1										1
キジハタ	類結節症									1				1

表2 魚病監視調査、健康診断(PAV(WSS)検査)

月	2009年						2010年						合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
検体数					55									55
陽性数					7									7